



令和2年2月19日

所 属	消防防災課
所属長	梶 雄志
電 話	06-6481-3967

名神高速道路合同防災訓練（西部地区）の振り返りを報告します

尼崎市では、2月5日に尼崎の森中央緑地パークセンター多目的芝生広場にて「名神高速道路上で多重衝突事故により多数傷病者が発生した」という想定のもと、各機関合同で訓練を実施しました。つきましては、次の通り、同訓練の結果を報告いたします。



車内に閉じ込められた要救助者を救出中



尼崎市消防局長による訓練講評

1 実施機関

- (1) 消防機関（西宮市消防局・豊中市消防局・尼崎市消防局）
- (2) 警察機関（兵庫県警察本部）
- (3) 道路管理者（西日本高速道路株式会社関西支社）
- (4) 医療機関（兵庫県立尼崎総合医療センター）

2 実施内容

初期通報連絡体制訓練、初動措置訓練、緊急車両進入訓練、現場指揮所運用訓練、救助・救護訓練、救急搬送訓練

3 振り返りと今後の対応について

高速道路上という閉鎖された空間で一度発災すると、初動時の迅速な対応が非常に重要になります。そのような中、本訓練を通して、各関係機関が顔の見える関係を深めるとともに現場指揮所運用など局面ごとに必要な対応で実際に互いの動きを確認できたため大変意味のある訓練となりました。

今後、高速道路上で事故のない事が一番ですが、もしも発生した場合には本訓練で得たものを生かし、迅速的確に災害対応していきます。

以 上